

II. 分担研究報告

厚生労働科学研究費補助金 障害者対策総合研究事業(神経・筋疾患分野)
分担研究報告書

脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立に関する研究

研究分担者：有賀 徹（昭和大学救急医学講座教授），宇川義一（福島県立医科大学神経内科教授），喜多村孝幸（日本医科大学脳神経外科臨床教授），佐藤慎哉（山形大学総合医学教育センター教授），篠永正道（国際医療福祉大学附属熱海病院脳神経外科教授），高安正和（愛知医科大学脳神経外科教授），西尾 実（名古屋市立大学脳神経外科非常勤講師），畑澤 順（大阪大学核医学講座教授），馬場久敏（福井大学整形外科教授），深尾 彰（山形大学公衆衛生予防医学講座教授），細矢貴亮（山形大学放射線診断科教授），三國信啓（札幌医科大学脳神経外科教授），吉峰俊樹（大阪大学脳神経外科教授）。

研究協力者：加藤真介（徳島大学整形外科教授），紺野慎一（福島県立医科大学整形外科教授）島 克司（医療法人医鳳会 / 防衛医科大学校前脳神経外科教授），鈴木晋介（国立病院機構仙台医療センター脳神経外科医長），中川紀充（明舞中央病院脳神経外科部長），守山英二（国立病院機構福山医療センター脳神経外科医長）＜五十音順＞

研究要旨

研究代表者の指導のもとに、「脳脊髄液減少症の診断・治療法の確立に関する研究」という課題で、低髄液圧症候群を含む脳脊髄液減少症、および外傷性頸部症候群に関する網羅的な論文検索を行った結果に基づき臨床研究プロトコルを作成し、前方視的多施設共同臨床研究を行った。

平成22年度～23年度は、その臨床研究結果にもとづき「脳脊髄液漏出症の画像判定基準・画像診断基準」を策定、公表した。平成24年度は、公表した画像診断基準により「脳脊髄液漏出症」と診断された症例を対象としたブラッドパッチ療法の先進医療申請を行い6月に承認を受けることができた。さらに、平成24年6月からは、「治療法の安全性・有効性と周辺病態の検討のための新たな多施設共同臨床研究」を開始し、平成25年度、新たな研究助成を受け研究を継続した。

A.よりH.までの報告は、研究代表者と同一であるため、省略する。